

広報

さん

せい

じゅ

山静寿

第18号

2024.5月



すてきな笑顔に出会いました



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部山形県済生会

<https://www.yamagata-saiseikai.org>

特別養護老人ホーム **山静寿**

〒990-2474 山形県山形市大字沼木字下河原1133-1
Tel.023-646-3410 Fax.023-647-6670
E-mail : sanseiju@yamagata-saiseikai.org



養護(盲)老人ホーム **山静寿**

〒990-2474 山形県山形市大字沼木字下河原1133-1
Tel.023-645-8300 Fax.023-664-0145
E-mail : mouyogo@yamagata-saiseikai.org





「二極化」に向き合う

養護(盲)老人ホーム山静寿 副施設長 齋藤 英敏

新型コロナウイルスの位置づけが五類に変更されてから一年が経過しました。様々なイベントの復活が連日報道され、ゴールデンウィークの観光地の人も、コロナ禍前に戻った、あるいはそれ以上の賑わいを見せていることが伝えられています。また、花粉の飛散がほぼ終了しつつある(五月一日現在)ことや季節外れの気温の上昇もあってか、街中でマスクを着用している人が日に日に減っている印象を受けます。入口に設置していた手指消毒液を撤去する店舗も増えてきました。しかし、施設内を見れば、検温装置や手指消毒液のボトルはそのままであり、職員はもちろん、入所者の方々も食堂などの共有スペースでは、全員がマスクを着けての生活を継続しています。正に、コロナ対応の「二極化」現象が生じています。日々命に直面している高齢者施設では感染予防対策の緩和に慎重にならざるを得ないことは自明なことですが、行

動制限による入所者やそのご家族、そして、職員が抱えているストレスを考えると、「二極化」にどう向かっていくかを真剣に検討する必要に迫られています。

話題は大きく変わりますが、昨年あたりから、大幅な賃上げを行う企業等が相次ぐとの報道が明るいニュースとして取り上げられています。福祉の分野でも特に介護職員の処遇改善が急務であることが強く提言されました。当然のことと受け止めつつも、エネルギー価格や物価の高騰が顕著な昨今の施設経営を考えると、改善幅には自ずと限界があることも事実です。すなわち、他業種との比較において待遇での「二極化」現象が現れつつあると思わざるを得ません。

慢性的な人手不足の中で、自らの仕事に誇りと責任を持って誠実に業務に従事している職員と日々接する中で、「二つの二極化」という課題を何とか克服していきたいと思う今日この頃です。

令和6年度 山静寿 事業計画

テーマ

「人材不足が生じても
運営持続可能なシステムの構築」

基本方針

入居者の希望に寄り添えるケアを引き続き追求します。



生産性の向上と効率的なサービス提供を目的に介護システムや通信機器類等の再構築を進めます。

介護の質を低下させることなく収支を整え健全経営に努めます。



重点目標

視点	目標	評価指標	目標値
顧客	信頼関係の向上	満足度調査	評価[21点/26点]以上
介護の質	感染防止	感染症罹患患者数	前年度未滿
		感染症発生時の対応マニュアル作成	年度内
	専門性の向上	認定特定行為業務従事者	2名以上育成
		認知症介護実践リーダー	1名以上育成
		認知症介護実践者	1名以上育成
		ユニットリーダー	3名以上育成
		医療的ケア資格取得者	2名以上育成
キャリア段位者	1名以上育成		
業務	業務の効率化を図る 職場環境の改善	次期介護システムの選定	年度内
		通信設備更新	上半期内
	厨房システムの構築	年度内	
学習	新規加算取得	医療連携、生産性向上に関する加算	上半期内
		育成し合う 教育研修の実現	他施設研修参加者数
		学会発表演題数	7題以上

私たちの生活

ききょう ユニット

紅葉狩り

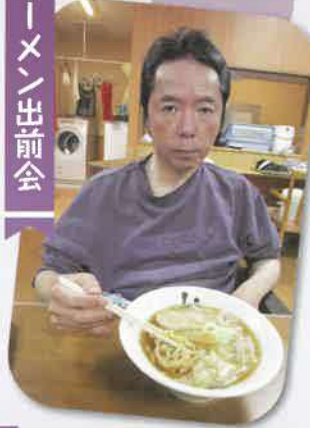


野山が色とりどりに染まって綺麗ねえ〜。



熱くて美味しそう!!

ラーメン出前会



獅子に噛んでもらって縁起良いなあ!!



獅子舞



クリスマス会



プレゼントの中はなにかしら?



あーサンタさん、ありがと様な!

鬼はそと〜

福はうち〜



節分豆まき

かたくり ユニット

新春大相撲かたくり場所



大声援が飛び大盛り上がり!

新年会



大満足です

お正月



年賀状が届き、元気な知らせに笑顔がこぼれます。

スイーツバイキング

どれにしようか迷ってしまいます。



体も心も温まります。



日常



雪景色を眺めながら穏やかなひと時...

ポタージュスープ作り

みずばしょう
ユニット



芋煮会

この大きさを
良いかな...



こんなに食べても
いいかしら...



お茶会



里芋の収穫だ!

クリスマス会



メリークリスマス

鬼に金棒!!



節分

鬼は外!?



やまゆり
ユニット



芋煮会

畑で収穫して
芋煮を作って食べました

お誕生日



お誕生日おめでとうございます!

書初め



書初め



節分



鬼は外! 福は内!



お菓子作り



手作りスイーツ

カフェ



ほっと一息、カフェタイム

にりんそう
ユニット



メダカ鑑賞



かわいらなあつ



節分



鬼と一緒に、はいチーズ☆

今年は
何と書こうかな...



書き初め



あじまんドライブ

山形の
冬のおやつといえば



やっぱり冬は
みかんだべ!!

日常

男はでっかく!



養護
(盲)



団子、上手く付けてるかな?



1月 団子木づくり

2月 豆まき



鬼は外!
福は内!!

3月 キッチンカー第2弾



海老ワンタン、大きくてプリプリね!

11月 キッチンカー



完飲! 完食! たいらげました!

12月



忘年会といえば、
お決まりのお寿司よね!



10月 ハロウィンお茶会

Happy!!
Halloween!!



山静寿学会から山形県済生会ケアフォーラムへ



令和5年12月に令和5年度山静寿学会を開催し、今年度は各部署より8題の演題が出されました。全職員が投票し、みずほしよユニットの『かーちゃん』心に寄り添うケアを目指してが最優秀賞を獲得しました。令和6年2月には、新型コロナ対応により中断していた山形県済生会ケアフォーラム（若手職員の能力向上と自主性を育むことを目的とした研究発表大会）が4年ぶりに開催され、施設代表として山静寿の取り組みを報告いたしました。

地域のサロンの参加



当施設では沼木上町内会で毎週開催している若草サロンへ、令和3年11月より月1回参加しております。サロンでは、地域の方々が集まり体操やウォーキング、畑での作物育成などを行っています。施設側からは、介護や医療に関する話題をお話して意見交換を行っています。

令和5年度は、施設の看護師・機能訓練指導員が参加し、筋力低下につながるような下肢の筋力運動や認知症の種類やその症状について説明を行い、一緒に運動も行いました。

今後も施設の多職種の職員が参加し、地域住民の方々と交流を深めていきたいと思っています。

お茶のみ懇談会

令和6年3月21日、各ユニットからお一人ずつ参加していただき、職員と入居者の方々とのお茶のみ懇談会を開催しました。入居者さん同士の会話も弾み、「何年生まれ？何歳？どこ生まれ？若いなら〜等とお互に関心や興味を持ちながらの交流が図られました。

施設に対する要望や意見等をお聞きすると「毎日お世話してもらってありがたいし不便は感じない、幸せです、特にこれと言っていない」「家族と会いたい、面会ができる時間をもっと多くしてもらいたい」「買物に行きたい」等の意見や要望が聞かれました。

お茶を飲みながら、自分の生い立ちや若い頃にしてきた仕事や趣味の話等、気軽に話をされているのが印象的でした。終盤には「アンコ樫は恋の花」の歌を入居者さん同士で□ずさみ盛り上がりお開きとなりました。

コロナ禍前は家族会で年1回開催した事はありましたが、コロナ禍という事もあり、約4年間開催する事ができませんでした。これからは、施設でも定期的に入居者さん同士の交流や寄り合いの様な情報交換ができる場を設け、普段思っている事や施設に対する要望や意見等をお聞きしていきたいと思えます。



EPA介護福祉士候補者の近況について

令和3年6月よりEPA（日本・インドネシア経済連携協定）介護福祉士候補者が着任し、約3年が経過します。日本語能力の上達や介護に関する知識や技術の習得はもちろんですが、現在は来年1月に実施される介護福祉士の国家試験に向けて日々学習を重ねています。

7月には、国家試験に向けて介護技術・知識向上のため研修会への参加も予定されています。日々の介護業務全般については、概ね一人で判断し業務を遂行しており施設にとっても頼もしい存在となっています。居室の担当入居者さんのご家族様へは、日本人スタッフと同様に毎月お便り（日々の様子などのお知らせ）を作成して送付しています。入居者さんとのコミュニケーションもスムーズに図る事ができ、声かけや対応も丁寧に接してくれています。介護福祉士の国家試験まであと8ヶ月です。合格を勝ち取ることができるよう頑張っている二人を引き続き支援していきたいと思ひます。



「福祉サービス第三者評価受審」

について

令和5年9月、令和元年以来4年ぶりに「福祉サービス第三者評価」を受審しました。「福祉サービス第三者評価」とは、福祉サービスを提供する事業者のサービス内容について公正・中立な第三者機関（評価機関）が専門的・客観的な立場から評価し、その結果を公表する仕組みです。事業所のサービスの質の向上を図ることを目的としており、評価結果は、利用者・家族の情報源となります。

令和5年5月の打合せを皮切りに、職員への説明会、職員自己評価、利用者・家族アンケート、自施設の自己評価、評価機関の訪問調査と続き9月に最終結果が示されました。最高評価の「AAA」を目指しましたが、結果は前回同様「A」と評価されました。利用者の快適な生活への取り組みや施設の現状の課題解決と将来を見据えた取り組みに対しては、高い評価を得られました。が、「地域との取り組み」や各種マニュアルの整理等に対し今後の課題も残ると評価されました。



防災訓練 水害想定実施



令和6年3月1日(金)日勤帯での水害を想定した防災訓練を特養・養護合同で実施しました。近年、豪雨や台風による水害が毎年のように発生し、福祉施設においても大きな被害を受ける事が少なくありません。山静寿が立地している沼木地区は山形市のハザードマップにおいて、0.5m～3mの浸水想定区域に指定されています。

今回は、気象庁より大雨警報、山形市から「警戒レベル3（高齢者等避難）」が発令された事を想定し、1階の入居者様を2階へ垂直避難する訓練を実施しました。災害本部長である施設長の指示のもと、介護職員や事務室職員などが協働し、入居者さんを2階へ誘導しました。職員同士声をかけあいながら居室内を確認し、入居者さんが不安のないよう声かけしながら対応し、無事避難は終了しました。

訓練を実施しての課題も見えてきました。一つずつ課題を解決し、有事の際に迅速な対応ができるよう、職員一人一人が防災に関する知識を高め入居者さんの安全・安心を図ってまいります。



養護

ご当地ラーメン 総選挙で日本一



酒田のラーメン、できたてを味わう

養護（盲）老人ホーム山静寿では、キッチンカー「花鳥風月号」を施設に呼び、入所者の皆さんにできたてのラーメンを食べていただく行事が好評です。

令和6年3月には、「あの感動をもう一度」をテーマにラーメン行事を開催。入所者の皆さんからは、「ラーメン」「ワントンメン」「海老ワントンメン」の中から好きなものを選んで食べていただきました。

大きめのワントンには肉汁たっぷり具が入っており、口に入れる前からとろけてしまいうです。薄皮で透けて見えるプリプリの海老ワントンもボリューム満点でした。スープ中のワントンを探しながら食べることも楽しみのひとつとなっています。

一滴残らず堪能されている方もおり、入所者の皆さんからは、「来月もお願いね」との声が多数出ています。今後もラーメン企画を進化させ、更に楽しんでもらえるよう行事を企画したいと思えます。



山形県内唯一の盲養護老人ホームである当施設の存在を広く知ってもらうとともに、子どもたちの視覚障がい者理解を進めるため、毎年学校に出向いて出前授業を行っています。令和5年度は、山形市立明治小学校（全校児童対象）と山形市立出羽小学校（第5学年児童対象）の2校で実施しました。

今回の授業は、はじめに、二人一組でアイマスクを着用して校内を歩いてみることによって、視覚障がい者が感じている恐怖心等に気づくとともに、障がい者への支援の

仕方を具体的に学びました。次に、アイマスクをつけたまま給食の身支度をする活動を通して、日常問題なくできていることが、目が見えない状態では難しいことを実感し、視覚障がい者が一人で様々な行動ができていることのおすごさに気づきました。最後に、STT（サウンドテーブルテニス）を体験。視覚障がい者であっても生活を楽しみ、人生を豊かにすることができるスポーツがあることを理解しました。また、点字や白杖SOSなどについても取り上げ、学びを深めてもらいました。



アイマスク歩行



給食の身支度



STT体験

苦情解決 委員会

今期間は苦情が寄せられませんでした。今後も、苦情がないよう、より一層研鑽してまいります。
(令和5年10月～令和6年4月)

寄付・寄贈

ありがとうございました。

- 佐藤 信久 様 (佐藤タケヨ様 ご家族) — 金 20万円
- 山形市シルバー人材センター 様 — タオル

山静寿の精神 仁 …深い愛で相手の立場を思いやり、広い心で受け入れる。

特別養護老人ホーム **山静寿**

(施設理念)
「入居者一人ひとりの生活習慣や好みを尊重し、今までの暮らしが継続できるように支援すること」そして「もうひとつのわが家」を目指す。

(ビジョン)
「私たちが受けたいサービス」「私たちが入りたい施設」を作る。

養護（盲）老人ホーム **山静寿**

(施設理念)
入所者一人ひとりの生活習慣や好みを尊重し、より良い暮らしができるように支援する。

(ビジョン)
「愛を感じられる、安全・安心な我が家」を作る。

基本方針 『愛(思いやり)』『願い(生きがい)』『支え合い(協調)』『共生(平等)』

随時、特別養護老人ホーム及び養護（盲）老人ホームの施設見学並びにボランティアの募集を受付していますので、ご希望の場合は下記担当者へご連絡をお願いいたします。

担当 特別養護老人ホーム山静寿 業務主査 有澤 TEL 023-646-3410
養護（盲）老人ホーム山静寿 管理課長 井上 TEL 023-645-8300

(新型コロナウイルスの感染状況に応じて、受け入れできない場合がございます)